

リカバリー全国フォーラム2009

～日本の精神保健福祉サービスを“当事者中心”に変革するために～

2009年8月21日(金)-22日(土)

日本社会事業大学・清瀬キャンパス(東京都清瀬市) 参加者数:約700名予定

主催:NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ 企画委員長:高橋清久(国立精神・神経センター名誉総長)

リカバリー全国フォーラム2009の趣旨

こんにち日本の精神保健福祉サービスは目まぐるしく変化しています。しかし、これらの動きが精神障害をもつ方々にとって本当に役立つ改革なのか、真に有用な取り組みが導入されているのか、確かな実感を持っていない方も多いのではないでしょうか。

このような中、当事者・家族は何を目ざして必要なサービスを求め、また支援者は何を目標に支援サービスを提供して行けば良いのでしょうか。

この全国フォーラムで皆さんとともに討議する「リカバリー」は、精神障害をもつ方々がそれぞれの自己実現やその求める生き方を主体的に追求するプロセスのことです。世界中の関係者から注目されている支援の目標でもあります。本フォーラムでは、これから毎年、さまざまな立場の人たち(精神保健福

祉関係者、当事者、家族、市民など)が全国からつどい、「リカバリー」について共に考え、理解を深め、「リカバリー」を促進する支援方法や実践プログラムのあり方を“当事者中心”の視点から検討したいと思えます。また、「リカバリー」の実現に有用で、効果のあがる実践プログラムや支援方法を、全国的なネットワークを形成して、普及・定着・発展させることを目指します。

日本の精神保健福祉サービスを“当事者中心”に変革し、「リカバリー」理念に基づく効果的な支援方法・実践プログラムを、実践の積み重ねと関係者間の対話の中で、より良いものに築き上げていくことに強い意欲と熱意を持つ精神保健福祉関係者、当事者、家族、市民の皆さんが、全国から積極的にご参画いただくことを心よりお待ちしております。

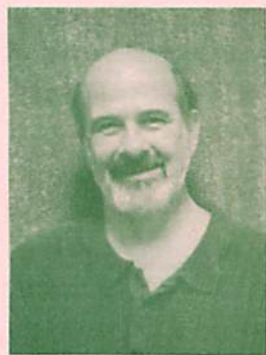
主なプログラム

8月21日(金)10:00~18:00

- 記念講演「ストレングス・モデル」の提唱者チャールズ・ラップ教授による
アメリカの精神保健福祉に与えたリカバリーのインパクト
- トークライブ:当事者・関係者による「リカバリーって何ですか? ~私の場合、あなたの場合~」
- 分科会(ミニシンポジウム、セミナー、ワークショップ) ■ランチョンセミナー ■懇親会

8月22日(土)10:00~17:00

- 特別講演「アンチスティグマとリカバリー」 高橋清久(国立精神・神経センター名誉総長)
- シンポジウム「日本の精神保健福祉サービスを“リカバリー志向”に変革するには」
- ランチョンセミナー ■分科会(同上) ■クロージング



お早めにお申し込みください。

参加費 ■事前申込み 7,000円(当日受付 8,000円) ■家族・学生 3,000円 ■当事者 2,000円

※「こころの元気+」賛助会員の方は、上記料金より1,000円引きとなっています。

企画委員
50音順
敬称略

相澤和美(東京医療保健大学)、有村律子(NPO法人全国精神障害者団体連合会)、有本愛美(社団法人日本精神科看護技術協会)、伊澤雄一(NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会)、伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所)、宇田川健(NPO法人地域精神保健福祉機構)、大島巖(日本社会事業大学)、加藤大慈(横浜市立大学付属病院精神科)、金子鮎子(NPO法人全国精神障害者就労支援事業所連合会)、佐伯隆史(神奈川県立精神医療センター芦香病院)、佐々木英司(全国精神保健福祉相談員会)、寺尾直宏(千葉県精神障害者家族会連合会)、福井里江(東京学芸大学)、広田和子(精神医療サバイバー)、福智寿彦(愛知県・すずかけクリニック)、藤野英明(横須賀市議会議員)、堀内美穂子(全国精神保健福祉相談員会)、増川信浩(WRAPファシリテーター)、四方田清(社団法人日本精神保健福祉士協会)、他

後援団体

日本社会事業大学、全国精神障害者団体連合会、全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)、日本精神科看護技術協会、日本精神保健福祉士協会、日本精神神経科診療所協会、全国精神障害者地域生活支援協議会、全国保健所長会、全国精神保健福祉連絡協議会、全国自治体病院協議会、精神科特別部会、全国精神障害者就労支援事業所連合会、日本ソーシャルワーカー協会、日本医療社会事業協会、他

申込

- インターネットで直接お申し込みください。<http://apollon.nta.co.jp/recovery2009/>
- Faxでお申し込みの場合は、コンボホームページから申込用紙をダウンロードし日本旅行千葉支店にお送りください。
- 申込用紙送付をご希望の方は、コンボ内全国フォーラム事務局までご連絡ください。



事務局・連絡先

特定非営利
活動法人 **地域精神保健福祉機構・コンボ**

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871

“COMHBO” COmmunity Mental Health & Welfare Bonding Organization 担当:桶谷・秋山

<http://comhbo.net>

リカバリー全国フォーラムプログラム概要

2009年8月21日(金) 受付9:00

- 10:00** 主催者挨拶 ～リカバリー全国フォーラムの趣旨・めざすもの～
高橋清久(企画委員長)、大島巖(NPO コンボ代表)
- 10:30** **トークライブ** **リカバリーって何ですか? ～私の場合、あなたの場合～**
出演者:「こころの元気+」表紙モデル・コンボライターズなど当事者の方、家族の方、支援者の方
コーディネーター:遊佐安一郎(長谷川病院) 福井里江(東京学芸大学)
- 11:45** ランチョンセミナー
- 13:00** **記念講演** **アメリカの精神保健福祉に与えたりカバリーのインパクト**
講演者:チャールズ・ラップ(カンザス大学) 座長:後藤雅博(新潟大学医学部保健学科)
- 15:15** **分科会**
- [リカバリーを語ろう!] 奏でよう♪ ひとりひとりのリカバリー/増川ねてる信浩(WRAP ファシリテーター)、他
 - 社会参加とリカバリーに貢献するケアの役割～退院した方、精神疾患でひきこもる方の地域生活をケアで支える～/福智寿彦(すずかけクリニック)、古屋龍太(日本社会事業大学)、他
 - 当事者参加と協働の地域生活支援システム～クラブハウスモデルの可能性～/宗像利幸(JHC 板橋会サン・マリーナ)、寺谷隆子(JHC 板橋会)、他
 - 地域における家族支援と家族のリカバリー/土屋徹(夢風舎・びあさぼ千葉)、福井里江(東京学芸大学)、他
 - ストレングスモデルに基づくACT チームの立ち上げ方と運営方法/三品桂子(花園大学)、梁田英麿(S-ACT)、他
 - ピアサポート(仲間同士の支えあい)～あれこれ大いに語り合おう～/有村律子(全国精神障害者団体連合会)、広田和子(精神医療サバイバー)、他
 - IMRの可能性～リカバリーの実現をめざして!(Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー) 加藤大慈(横浜市立大学)&横浜市大精神科リハビリテーションチーム、他
 - 障害者自立支援法で働きたいを応援する～IPS 援助付き雇用の可能性～/佐藤久夫(日本社会事業大学)、香田真希子(NPO コンボ)、越川睦美(ウィズ就労支援センター)、杉田明(障害者福祉サービス事業所ビック・ハート)、小佐々典靖(日本社会事業大学大学院)、他
 - 市町村議員と考えるリカバリーと地方行政/藤野英明(神奈川・横須賀市議会議員)、藤林詠子(福岡・久留米市議会議員)、桶谷肇(NPO コンボ)、他
- 18:30** 懇親会

2009年8月22日(土)

- 9:30** **特別講演** **アンチスティグマとリカバリー**
講演者:高橋清久(企画委員長・国立精神・神経センター名誉総長) 座長:古屋龍太(日本社会事業大学)
- 10:00** **シンポジウム** **日本の精神保健福祉サービスを"リカバリー志向"に変革するには**
シンポジスト:チャールズ・ラップ(カンザス大学)、広田和子(精神医療サバイバー)、寺谷隆子(JHC 板橋会)
伊藤順一郎(国立精神・神経センター精神保健研究所)
指定発言:江畑敬介(江畑クリニック) 座長:大島巖(日本社会事業大学)、三品桂子(花園大学)
- 分科会セミナー** **科学的根拠に基づく援助付き雇用の新しい方向性～アメリカの実情より学ぶ～**
リング・カールソン(カンザス大学)、久永文恵(NPO コンボ ACT-IPS センター)
- 12:45** ランチョンセミナー
- 15:15** **分科会**
- べてるの家のレッツ! 当事者研究
向谷地宣明(浦河べてるの家)、他
 - スキルアップ! 援助付き雇用ミニセミナー
リング・カールソン(カンザス大学)、久永文恵(NPO コンボ)、他
 - ストレングスモデルによる ACT のケースカンファレンス
チャールズ・ラップ(カンザス大学)、伊藤順一郎(国立精神・神経センター)、他
 - 「家族による家族学習会」の魅力と可能性
～体験者による語りから～/福井里江(東京学芸大学)、家族による家族学習会普及事業企画委員、他
 - 退院促進・地域移行、ここからの展開をどうはかるか
～ピア活動により切り開く新たな局面～
伊澤雄一(はらからの家福祉会)、他
 - 「WRAP-元気回復行動プラン」を使うということ
～WRAPを生活に取り入れてみたら…～
増川ねてる信浩(らっぴん)、鈴木司(T-WARP)、石津彰之(らっぴん)、大川浩子(コミユネット楽創)
 - 精神科訪問看護の可能性～医療福祉包括型サービスの必要性とピアスタッフの役割/有本妥美(日本精神科看護技術協会)、寺田悦子(NPO 多摩在宅支援センター円)、他
 - リカバリーの視点から危機介入・精神科救急における権利擁護を考える/四方田清(日本精神保健福祉士協会)、白石弘巳(東洋大学)、山本深雪(NPO 大阪精神医療人権センター)
 - 当事者中心の相談をしていくために(リカバリーの再確認)～行政が忘れてはいけない大事なこと…～
佐々木英司(全国精神保健福祉相談員会)、他
- 16:30** クロージング 三野善央(大阪府立大学)、大島巖(NPO コンボ代表)